

海の理科教室「ボートふしぎ発見講座」開催！

海事都市尾道推進協議会（事務局：尾道市、中国運輸局）は、海の理科教室「ボートふしぎ発見講座」を8月1日（土）～2日（日）に、尾道市民センター（むかいしまこころ）で5講座を開催し、児童48名、保護者35名、総勢83名の参加を得ました。

今年で10回目となる本講座は、尾道市内の小学3～6年生の児童を対象に、ヤマハ発動機株式会社の社会貢献活動担当の方を講師に招き、船に関する知識について解説や実験などを行うことにより、子供達に海や船へ関心を持ってもらうことを目的に開催しています。

まず、身近にあるキッチンボウルや同じ重さの鉄の塊と箱を使って、なぜ重い鉄でできた船が浮くことができるのか、実験を交えながら、子供にも分かりやすく浮力について説明をして頂きました。

また、船型の違う模型船を水槽で走らせ、どんな形の船が速く走ることができるのか、水の抵抗について学習した後、クリアファイルシートを使用して、子供達と保護者に自由にボートを製作してもらいました。

マイボートが完成したら、いよいよレースです。講師の説明を参考に、抵抗を受けにくい船型にして、各艇に思い思いの船名をつけてレースを行い、子供も保護者も順位を競う心に火がつき、大いに盛り上がっていました。

